むくのきだより　9月号

令和７年９月１日　港区立赤羽幼稚園　園長　中村　美奈子

命を感じ、命を大切にする心をはぐくむ

園長　中村　美奈子

8月28日から夏季保育が始まりました。久しぶりに登園し、先生や友達を見つけてにっこり。園長先生と「おはようございます！」の挨拶、マリア先生と「Good morning!」のハイタッチをした子供たち。夏休みの間に、また大きくなったなあと感じました。プールで思いっきり水遊びを楽しんだあと、園庭で大きなカエルも見つけました。

今年の夏は、戦後80年ということで、戦争や平和、命の尊さを伝える催しやニュースが多くありました。子供たちの笑顔を見るたびに、愛おしく、大切に育てたいと思います。そして、子供たちには、命を感じ、命を大切にしてほしいと願います。

幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中に、『自然との関わり・生命尊重』という項目があり、「自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心が探究心もって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもって関わるようになる。」と示されています。

赤羽幼稚園でも、野菜や花を育てたり、生き物を飼ったりしています。モルモットのモルくんは、年少さくら組の子供たちだけでなく、「ひよこっこ」の未就園の子や体験入園の子にも、人気があります。モルくんのゲージのそばに行って、様子を見たり餌をあげたりしている姿をよく見ます。「かわいいな。」「面白いな。」「好き。」と感じているのでしょう。年長ゆり組の子供たちは、餌をあげるだけでなく、おしっこやフンの掃除もします。楽しそうに掃除をしている姿に、愛着をもって世話をしていることが伝わってきます。幼児期から、命あるものに触れ、命あるものをいたわり、大切にする気持ちをはぐくむことが、自分の命や周りの人の命も大切にする心を育てることにつながると考えます。これからも、様々な生き物を見付けたり、触れ合ったり、育てたりする経験を積み重ねていけるよう、活動を工夫していきます。

令和8年度　園児募集・新園舎完成について

現在、旧赤羽小学校・赤羽幼稚園の敷地に、小学校グラウンドと赤羽幼稚園新園舎の建設を行っています。令和8年9月より新園舎に移転します。また、令和8年度より、3歳児クラスの募集が始まります。9月9日(火)に幼稚園説明会を行いますので、ぜひお越しください。